



平成 28 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 s M e d i o
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 田 中 俊 輔
(コード番号：3913 東証マザーズ)
問 合 せ 先 経 営 企 画 室 室 長 北 埜 弘 剛
(TEL. 03-3452-1227)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 2 月 12 日に公表しました平成 28 年 12 月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,219	53	44	14	7.52
今回修正予想 (B)	1,269	230	81	38	19.57
増減額 (B)-(A)	49	177	36	23	—
増減率 (%)	4.1	328.6	81.7	160.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 12 月期)	1,196	153	144	79	45.71

(注) 平成 28 年 12 月期の通期連結業績予想の 1 株当たり当期純利益は、平成 28 年 9 月末時点の発行済株式総数 1,979,621 株から自己株式 92 株を除いた株式数を用いて算定しております。

2. 業績予想修正の理由

(連結売上高)

第 3 四半期連結累計期間の連結売上高は、為替相場の円高による影響を受けつつも、①海外向けの売上が好調であったこと、②新規事業の好調な受託開発及び、③平成 28 年 9 月に 100% 子会社化したタオソフトウェア株式会社 (以下、「タオソフトウェア」という。) の売上寄

与があり、1,036 百万円となりました。

第4四半期連結会計期間の海外向けの売上は、好調を持続すると見込んでおりますが、直近の為替相場等を織り込んだ結果、平成28年12月期の通期連結売上高は1,269 百万円となる見込みであります。

- ・ 想定為替レートの変更（1米ドル=102.00円と円高方向に見直す。）
- ・ タオソフトウェアの売上寄与

（連結営業利益）

第3四半期連結累計期間の連結営業利益は、タオソフトウェアに関するのれん償却費を負担しつつも、①売上の好調、②外注費を含む経費節減により、230 百万円となりました。

第4四半期連結会計期間の連結営業利益は、想定為替レートの変更、タオソフトウェアと協力した新製品に向けた研究開発の推進などを織り込んだ結果、収支均衡を見込んでおり、平成28年12月期の通期連結営業利益は、230 百万円となる見込みであります。

（経常利益）

第3四半期連結累計期間の連結経常利益は、為替差損173 百万円を計上したことで、57 百万円となりました。

保有外貨の圧縮に努めてきた中、第4四半期連結会計期間に入り、保有する米ドルの大半を米ドル建ての支払いに充当いたしました。

このことにより、第4四半期連結会計期間において、第3四半期連結累計期間で計上しました為替差損173 百万円のうち、30 百万円程度が、為替差損の戻し（＝経常利益のプラス要因）となる見込みであり、平成28年12月期の通期連結経常利益は、81 百万円となる見込みであります。

（親会社株主に帰属する当期純利益）

以上を受け、親会社株主に帰属する当期純利益は、38 百万円となる見込みであります。

（注）上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき算出しており、実際の業績は今後の様々な要因により異なる場合があります。

以 上